



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月30日

上場会社名 株式会社エヌエフ回路設計ブロック 上場取引所 東  
 コード番号 6864 URL http://www.nfcorp.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 高橋 常夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 中川 準 (TEL) 045-545-8101  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,889	22.2	894	91.8	899	88.7	610	51.2
30年3月期第3四半期	6,457	36.8	466	34.4	476	36.7	403	84.0

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 551百万円(19.0%) 30年3月期第3四半期 463百万円(94.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	95.97	95.88
30年3月期第3四半期	64.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,336	9,313	64.9
30年3月期	14,455	8,155	56.4

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,310百万円 30年3月期 8,155百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	11.9	1,300	17.9	1,300	17.2	870	5.8	136.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	6,750,000株	30年3月期	6,330,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	50,768株	30年3月期	50,729株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	6,357,565株	30年3月期3Q	6,279,345株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績

当第3四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年12月31日)における世界経済は、米国で良好な企業業績・雇用情勢等を背景に景気拡大が継続したものの、中国で減速の兆しを見せるなど、一部で不透明感が生じる状況でした。わが国経済は、自然災害が相次いだものの、設備投資や個人消費などが底堅く推移し、総じて緩やかな拡大が継続しました。

このような経営環境下、当社グループは環境・エネルギー市場、社会インフラ・産業機器関連市場、自動車関連市場、航空宇宙関連市場などに向けて新製品の開発、幅広いソリューションの提案や拡販、新規事業の開拓に取り組んできました。生産面では山口地区での集中生産体制やグループ各社の調達機能の統合を進展させました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,889百万円(前年同期比22.2%増)、損益面では経常利益899百万円(前年同期比88.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益610百万円(前年同期比51.2%増)となりました。

#### ② 営業の分野別状況

当社グループは単一セグメントであるため、営業の分野別で記載しております。

##### 《電子計測制御分野》

電子計測制御分野では、継続的な新製品の開発と拡販に努めました。当期においては、周波数特性分析器や微小信号測定器が堅調に推移したものの、信号発生器や地震計測関連機器が弱含みで推移しました。

以上の結果、電子計測制御分野の売上高は943百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

##### 《電源システム分野》

電源システム分野では、試験用交流・直流電源、表面処理・産業用電源、蓄電システムの新製品開発と拡販に努めました。当期においては、蓄電システムや表面処理・産業用電源が堅調に推移しました。

以上の結果、電源システム分野の売上高は4,811百万円(前年同期比29.4%増)となりました。

##### 《電子デバイス分野》

電子デバイス分野では、当社の強みである低雑音性や周波数特性に優れた応用製品開発と拡販に努めました。当期においては、航空宇宙関連市場向け売上が伸長しました。

以上の結果、電子デバイス分野の売上高は677百万円(前年同期比44.9%増)となりました。

##### 《応用システム分野》

応用システム分野では、蓄積した技術とノウハウをベースにして、多様なお客様のニーズに応えるソリューションの開発と提供に努めました。当期においては、電力インフラ関連や電子部品関連が堅調に推移しました。

以上の結果、応用システム分野の売上高は933百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

##### 《その他分野》

その他分野は、校正・修理および機器仕入商品の売上が主で、売上高は523百万円(前年同期比21.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産)

当第3四半期連結会計期間の総資産は、現金及び預金、たな卸資産などが増加したものの、売上債権などの減少により、前連結会計年度と比較して118百万円減少し、14,336百万円となりました。

負債は前連結会計年度と比較して1,276百万円減少し、5,023百万円となりました。

純資産は新株予約権行使による資本金、資本剰余金の増加などにより、前連結会計年度と比較して1,157百万円増加し、9,313百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

受注および売上が、電源システム分野や電子デバイス分野で堅調に推移した結果、売上高および営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益が平成30年9月20日に公表した平成31年3月期通期の連結業績予想数値を上回る見込みになりました。連結業績予想につきましては、本日平成31年1月30日付「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正を行っております。

業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績はさまざまな要因によって予想値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,991,969	4,462,762
受取手形及び売掛金	4,317,568	3,506,235
商品及び製品	636,799	753,079
仕掛品	777,130	993,584
原材料	910,147	920,170
その他	86,453	95,481
貸倒引当金	△12,355	△11,652
流動資産合計	10,707,713	10,719,662
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,677,212	1,677,212
その他(純額)	1,261,016	1,238,418
有形固定資産合計	2,938,228	2,915,630
無形固定資産	140,910	106,141
投資その他の資産	668,798	595,296
固定資産合計	3,747,937	3,617,068
資産合計	14,455,651	14,336,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,571,718	1,292,771
電子記録債務	—	921,134
短期借入金	669,626	249,960
未払法人税等	377,245	89,462
賞与引当金	312,767	156,080
役員賞与引当金	29,200	—
その他	755,166	653,472
流動負債合計	4,715,723	3,362,880
固定負債		
社債	50,000	40,000
長期借入金	1,257,671	1,347,492
退職給付に係る負債	130,057	132,694
長期未払金	100,268	97,207
資産除去債務	27,289	27,391
その他	18,697	15,569
固定負債合計	1,583,984	1,660,355
負債合計	6,299,708	5,023,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,379,964
資本剰余金	401,137	781,102
利益剰余金	5,708,429	6,161,598
自己株式	△22,780	△22,898
株主資本合計	8,086,786	9,299,766
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	69,157	10,698
その他の包括利益累計額合計	69,157	10,698
新株予約権	—	3,030
純資産合計	8,155,943	9,313,494
負債純資産合計	14,455,651	14,336,730

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	6,457,249	7,889,462
売上原価	4,377,696	5,265,123
売上総利益	2,079,553	2,624,338
販売費及び一般管理費	1,613,172	1,729,836
営業利益	466,380	894,502
営業外収益		
受取利息	258	113
受取配当金	10,252	9,121
保険解約返戻金	5,598	10,658
その他	10,367	6,142
営業外収益合計	26,475	26,035
営業外費用		
支払利息	15,362	13,874
売上割引	159	90
新株予約権発行費	—	5,199
その他	409	1,564
営業外費用合計	15,931	20,729
経常利益	476,924	899,809
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	—	1,045
負ののれん発生益	92,606	—
特別利益合計	92,611	1,045
特別損失		
固定資産除却損	163	87
投資有価証券売却損	—	264
特別損失合計	163	351
税金等調整前四半期純利益	569,371	900,502
法人税、住民税及び事業税	105,171	245,917
法人税等調整額	60,750	44,434
法人税等合計	165,921	290,351
四半期純利益	403,450	610,151
親会社株主に帰属する四半期純利益	403,450	610,151

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	403,450	610,151
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,123	△58,459
その他の包括利益合計	60,123	△58,459
四半期包括利益	463,573	551,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	463,573	551,691
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年10月15日付発行の第三者割当による第2回新株予約権(行使価額修正条項付)の一部行使に伴う新株の発行による払込を受け、資本金および資本剰余金がそれぞれ379,964千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が2,379,964千円、資本剰余金が781,102千円となっております。